

栃身連

第121号

発行所
一般財団法人
栃木県身体障害者福祉会連合会
宇都宮市若草1丁目10番6号
とちぎ福祉プラザ2階
発行人 麦倉仁巳
TEL 028-624-8408
FAX 028-624-8418

第21回

栃木県民福祉のつどい

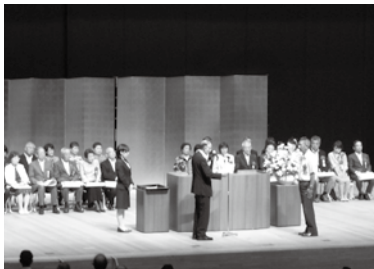
平成27年8月27日 宇都宮市文化会館



県民全体が福祉について考え、参加者が自らの活動への意欲をより高める機会とするため、「第21回栃木県民福祉のつどい」が開催されました。第一部式典では、障害関係で23名・2団体の皆さまが表彰を受けられました。第二部前半は、ダウン症の書家・金澤翔子氏による揮毫が行われ、力強い筆運びで書を披露、後半は母親である金澤泰子氏を講師に迎え、『ダウン症の娘と共に生きて』と題して講演が行われました。



栃木市 中田日出夫氏



佐野市 神裕次氏



真岡市 大塚宏氏

栃木県知事表彰

障害者自立更生者

栃木市 中田 康夫
大田原市 新巻 日出夫

障害者支援功労者

宇都宮市 小池上 淳
那須塩原市 渡辺 昭三
那須烏山市 芝 正子
益子町 岩崎 利郎
宇都宮市 (公社) 栃木県断酒
ホトトギス会

障害者社会参加促進功労者

足利市 (公財) 足利市みどり文化スポーツ財団

栃身協会長表彰

自立更生者

宇都宮市 植木 均也
宇都宮市 山川 昇
佐野市 神津 裕次
真岡市 阿久津 節子
さくら市 小畑 靖夫
野木町 野辺 実
塩谷町 塩谷 祐造

更生支援功労者

宇都宮市 猪瀬 友夫
栃木市 丸山 宏

県民福祉宣言

真岡市 大塚 宏
真岡市 保坂 雄
真岡市 金子 元
矢板市 田代 正太郎
さくら市 遠藤 忠
那須烏山市 細井 重正
壬生町 細井 重正
塩谷町 有坂 典
那珂川町 石田 英一
(敬称略)

私たちは、ふるさと「とちぎ」で暮らす全ての人々が一人ひとり自立し、お互いに支え合い、助け合いながら、安心して、また、誇りを持って住み続けることのできる地域社会づくりを目指し、「子どもを健やかに生み育てる環境づくりの推進」「人と地域の輪を広げ、ひとり親家庭への自立支援」「高齢者の健康と生きがいづくりの推進」「障害者の自立支援と社会参加の促進」「共同募金やボランティアなどの民間福祉活動への参加と協力の推進」に積極的に取り組みます。そして、ここに集う私たちをはじめ、本県の福祉関係者が一致協力して県民の福祉に対する認識と理解を一層深め、ともに生きる豊かな福祉社会の実現に努めることを宣言します。

平成27年8月27日
栃木県民福祉のつどい参加者一同

地域福祉会だより

宇都宮市肢体障害者福祉会

会長 中村富頼

私達の会は歴史があり、昭和32年、宇都宮市身体障害者福祉会連合会（宇障連）が創立され、その構成団体として宇都宮市肢体障害者福祉会（宇肢会）が組織され58年目を迎えました。

通称「宇肢会」と呼んでいます。動物の「牛」に例えています。なんとなくゆったりとした動作に見えますので私達もみんなで力を合わせて着実に歩んで行くことの意味をもっているのです。

私は平成13年に宇肢会会長に就任、宇障連では副会長を務めています。

当会主催としては一泊の新年会を毎年開催していますが、宇障連の主催行事、例えば、野外訓練、ハッピーフェスティバル、ボウリング大会、ふれあいスポーツ大会等での活動が中心です。

また、市福祉センターにおいて様々な講座が開催されており、絵画、書道、絵手紙、パソコン、組み紐等の講座に多数の方が参加して他の障害者の皆さんと交流を図っています。

その他毎年開催されている「宇都宮市福祉の祭典」では、宇肢会も模擬店を開き、バナナやみかん等を販売し協力しています。

他市町の活動を見ますと、いろいろなスポーツを開催していますが、私達の会にはリーダーとなるスポーツの得意な人がいませんので開催するのは容易ではない状況です。

それでもカラオケの得意な人が多いので何かの集まりでは必ずカラオケが始まります。

また、毎年開催される「日本身体障害者福祉大会」に合わせて、県内各市町福祉会員有志を募って大会ツアーが実施されますが、宇肢会会員の多くが参加し、昨年は10名、今年の九州宮崎大会には7名が参加しました。「来年も行きたいね」との希望があり楽しみにしています。

また、女性会員の皆さんが「レディースクラブ」を結成し、交流の場を広げるためにレクリエーションや日帰りバス旅行等の催しを企画、女性のパワーで積極的に活動しています。

私達障害をもっている仲間同士の会ですから、お互い出来ることを發揮して助け合いながら、そして難しいところはボランティアの援助も受けながらの活動です。

他の市町団体も多分悩みの種は、会員の減少と高齢化であると思います。青年がいまません。

今後の会の運営に支障をきたしますので、できるだけ若い会員に入会していただきたいと願い、微力ながら努力していきたいと思っております。



▲ 研修旅行



▼ 交流会



▼ 福祉大会ツアー

平成27年度 栃身連研修会(於とちぎ福祉プラザ)

第1回 平成27年7月6日

『災害から命・財産・我が家を守るには』

講師／栃木県民生活部危機管理課 総務企画担当・菊地主事

前半は菊地主事による講話で、県の地域防災計画に基づき、起こりうる災害全般にわたり説明がありました。後半は日本障害フォーラムにより製作されたドキュメンタリー映画『生命(いのち)のことづけ』死亡率2倍障害のある人たちの3.11』を視聴しました。



第2回 平成27年8月3日

『認知症の人と家族を支えるために』

～察する(さつする)ことからはじまる認知症ケア』

講師／NPO法人「風の詩」代表 認知症ケア専門士・永島 徹氏

認知症の正しい知識や認知症ケアのポイントなどを学びました。「認知症」という病気にばかり関心が向いてしまい、肝心の「人」に目が向かなくなりがちです。注意しなければならぬのは、私たちが向き合いたい大切にしていかなければならないのはその人の思いです。相手の思いに目を向け、思いを察していくことで、お互いの関係性がよりよいものになります。



平成27年度
関東甲信越静岡ブロック
身体障害者相談員研修会

平成27年7月24日、静岡駅前にある「静岡音楽館Aオー」において開催されました。

- 1 「共生社会の足音」
～障害者差別解消法の施行をひかえて～
〔講師〕 弁護士 大胡田 誠氏
- 2 「認知症を学び地域で支えよう」
〔講師〕 静岡市登録認知症キャリアバンナメイト
飯塚哲男氏、松田 智氏

栃木県からは7名の相談員が参加、次のとおり感想等が寄せられました。

〈講演1について〉

- 障害者差別解消法の施行に向けて、事例を挙げての講話で、社会モデルの考え方、合理的配慮とはどういうことかを分かりやすく話していただきました。
- 障害者差別解消法の背景、障害のとりえ方の転換、他国の状況、国内の動向など、いろいろな事例を交えて大変分かりやすい説明であった。
- 各自自治体が差別禁止の条例を作ったからこれから良くなるのではないかという事でした。
- 街中で障がいを持つ人を見かけた一瞬その人の事を思っただけでいい。そんな一つひとつの瞬間が

社会を変えていく一歩になり、お互いの心を豊かにしてくれるきっかけにもなるのではというお話でした。

講師の大胡田氏は全盲でありながら自立した生活をしていることに敬服しました。

〈講演2について〉

- 認知症サポーターの養成は全国的な認知症支援対策の取り組みです。認知症の人への対応などはスライドで分かりやすく説明がありました。私達の身近な問題でもあるので大変勉強になりました。
- 実体験から学んだ認知症の理解促進をするための自分が取るべき行動について、資料とビデオを駆使して説明していただきました。
- 10年後には認知症患者が七百万人を突破し、認知症高齢者は1.5倍にも増えると聞き愕然とした。
- 認知症の人の思いを理解する対応の心得 3つの「ない」
1、驚かせない
2、急がせない
3、自尊心を傷つけない
- 静岡市では「認知症しずメール」(徘徊認知症高齢者見守りメール)に登録すると、認知症の人が徘徊して行方不明になった場合、地域包括支援センターから見守り協力者に行方不明発生情報をメール配信する制度があるそうです。

第15回 全国障害者スポーツ大会 “紀の国わかやま大会” 平成27年 10/24(土)～26(月) 紀三井寺公園陸上競技場他

平成27年度は和歌山県で開催される秋季国体の直後に「第15回全国障害者スポーツ大会」が開催されます。15回目となる本大会に、栃木県では身体障害者24名、知的障害者16名の合計40名が代表選手として派遣されます。各競技会場へは自由にご入場いただけます。是非応援にお出かけください。

栃木県派遣選手 (身体障害者)

所属	氏名	障害	参加競技
1 塩谷町	青木 龍太	視覚	陸上競技
2 県立盲学校	木下 歩	視覚	陸上競技
3 宇都宮市	浅野 俊也	肢体	陸上競技
4 宇都宮市	矢島 一美	肢体	陸上競技
5 宇都宮市	小室 元気	肢体	水泳
6 足利市	齊藤 宏一	肢体	水泳
7 小山市	小林 修一	肢体	水泳
8 足利市	大塚 忠胤	肢体	アーチェリー
9 栃木市	野澤 信弘	肢聴	卓球
10 下野市	藤沼 貴大	聴覚	卓球
11 県立聾学校	西澤 侑甫	聴覚	卓球
12 宇都宮市	石崎 つとむ	視覚	バドミントン

所属	氏名	障害	参加競技
13 鹿沼市	近野 佳子	聴覚	フライングディスク
14 宇都宮市	古口 正文	肢体	フライングディスク
15 日光市	脇島 廣吉	肢聴	フライングディスク
16 栃木市	国井 哲也	聴覚	バレーボール
17 小山市	森田 稔	聴覚	バレーボール
18 下野市	鎌田 英治	聴覚	バレーボール
19 鹿沼市	木沢 一俊	聴覚	バレーボール
20 栃木市	佐藤 伸	聴覚	バレーボール
21 宇都宮市	若原 正享	聴覚	バレーボール
22 小山市	星野 幹志	聴覚	バレーボール
23 佐野市	大澤 洋	聴覚	バレーボール
24 那須塩原市	高根沢 務	聴覚	バレーボール

平成27年度版栃木県障害者福祉ガイド

障害のある方やその家族の方が利用可能な福祉サービスを中心に、障害者福祉施策全般を分かりやすく取りまとめた「平成27年度栃木県障害者福祉ガイド」が発行されました。本ガイドは、栃木県公式ホームページ障害福祉課のページにおいてPDFファイル版をご覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/fukushi/shougaisha/shisaku/index.html>

有償頒布については次のとおりです。

[頒布場所]

- ・県民プラザ（県庁舎本館2階）
- ・地方合同庁舎生協売店
（河内、上都賀、芳賀、下都賀、塩谷、那須、南那須、安蘇、足利）

[頒布価格] 1冊 190円

問 栃木県文書学事課情報公開推進室
(TEL)028-623-2059 (FAX)028-623-2057

栃木県障害者文化祭

障害者の自立と文化活動への参加を促進するとともに交流を通じ、県民の間に広く障害者福祉についての関心と理解を深めることを目的に開催されます。自由にご入場いただけます。お誘い合わせのうえ是非ご来場ください。

[開催期日] 平成27年11月6日(金)・7日(土)

[開催場所] とちぎ福祉プラザ、わかくさアリーナ


[開催内容] 作品展示、芸能発表、カラオケ大会、製作品販売、模擬店等

問 栃木県障害者文化祭実行委員会事務局(障害福祉課内)
(TEL)028-623-3490 (FAX)028-623-3052

JRジバング倶楽部特別会員

身体障害者手帳により購入できる乗車券以外の急行券や特急券が2～3割引で購入できる制度です。詳細はお問い合わせください。

問 栃木県身体障害者福祉会連合会
(TEL)028-624-8408 (FAX)028-624-8418
(HP)<http://www.tochishinren.jp>

 この機関紙は
赤い羽根共同募金配分金により発行しています

平成27年度臨時福祉給付金

臨時福祉給付金は、平成26年4月の消費税率引上げによる影響を緩和するため、所得が低い方々に対して、制度的な対応を行うまでの間の、暫定的・臨時的な措置として実施されるものです。

支給対象者 平成27年度分の住民税が課税されない方

ただし、以下のいずれかに該当する場合は対象となりません。

- ・課税されている方に生活の面倒を見てもらっている場合（住民税において、課税者の扶養となっている場合）
- ・生活保護制度の被保護者となっている場合 など

支給額 1人につき6,000円 ※支給は1回です

申請方法

- 臨時福祉給付金を受け取るためには、市町村への申請が必要です。
- 申請先は、平成27年1月1日時点で住民票がある市町村です。
- 申請受付期間や申請書の入手方法は各市町村によって異なります。
- 詳細は各市町村広報や厚生労働省ホームページをご確認ください。

ご不明な点は、
「厚生労働省専用ダイヤル0570-037-192」
または
「申請先の市町村」へお問い合わせください。

パソコンボランティア指導者養成研修会

- 内容
パソコンボランティアの指導者を目指す者で（障害の有無を問わない）障害者へのICT活用を目的とした研修を障害別カリキュラムにより実施する。
- 対象
以下の条件を満たす方。
(1)日常的にパソコンでワープロ操作、ホームページ閲覧、メール通信をしている方
(2)今後指導者として障害者へのパソコンボランティアの養成に携わる意欲のある方
(3)マイクロソフトWindowsの基本的な操作がキーボードでできる方
- 研修開催地及び日程
通常研修 (東京)
12月5日(土)～12月6日(日)
特別研修 マルチメディアDAISY製作研修(東京)
12月16日(水)～12月17日(木)
1月16日(土)～1月17日(日)
- 研修費
資料代 4,000円

※詳細は下記ホームページをご参照ください。
(HP)<http://www.jsrpd.jp/ic/pcv/>

**問 日本障害者リハビリテーション協会
情報センター パソボラ事務局**
(TEL)03-5273-0796 (FAX)03-5273-0615